諏訪広域消防本部

消防職員募集

求む！ 人間 消防力

諏訪広域消防本部の組織概要

消防本部

総務課

●職員の人事　●消防庁舎等の維持管理
●職員の服務・研修　●予算・決算等
●職員の福利厚生

予防課

●消防同意事務　●火災予防の指導・規制
●違反是正　●消防用設備の設置指導
●危険物・火薬類の指導・規制等

警防課

●各訓練の企画・調整　●救急普及啓発
●消防車両の維持・管理
●指揮隊・特別救助隊の管理等

通信指令課

●災害出動指令　●消防無線施設の維持・管理等

消防署

岡谷消防署
諏訪消防署
茅野消防署
下諏訪消防署
富士見消防署
原消防署

●災害出動（火災・救助・救急）
●火災の原因調査
●立入検査
●消防水利の維持管理
●消防団等外郭団体の事務等

分署

茅野消防署
西部分署
北部分署

●災害出動（火災・救助・救急）
●火災の原因調査
●立入検査等

諏訪広域消防署所の配置

●管轄面積
　７１５.７５平方キロメートル
●人口
　１９４,０５７人
●消防署所
　１消防本部、６消防署、２分署
●消防職員の実員
　２３８人
（男性：２３０人
　女性：　　８人）

お問い合わせ
諏訪広域消防本部　総務課
〒394-0003
岡谷市加茂町一丁目２番６号
TEL:0266-21-1190
FAX:0266-21-2119

消防隊

指令を受けて直ちに現場に出動し、建物の延焼を防ぐとともに迅速に消火活動を行います。

消防署、分署には、あらかじめ水槽を装備した水槽付消防ポンプ自動車（タンク車）が配備され、現場到着と同時に消火活動を行うことができます。

消防隊は、建物火災のほか、乗用車やオートバイなどの車両火災、工場や倉庫の火災、危険物火災などさまざまな火災現場に対応しています。

タンク車

タンク車は、一般的なお風呂の浴槽（約200Ｌ）の9杯分にあたる1800Ｌもの大量の水を積載しています。火災現場に接近し、いち早く消火活動を行います。消火栓や川からも水を吸い上げ放水することもできます。

ポンプ車

ポンプ車は、水は積載していませんが、火災時には消火栓や川から水を吸い上げ、ほかの車両へ水を送ります。

≪火災出動時の装備≫

消防活動時の個人装備の要であるこの防火衣は、しころ付きの防火ヘルメット・上衣・ズボン・鋼製先芯入りのゴム長靴・ケブラー製の手袋で構成され、災害活動現場において高熱などから隊員を守るための装備です。

防火服は**約１０キロ**・空気呼吸器やボンベは**約１０キロ**です。それにロープや無線機などを加えると、合計で**約２５キロ～３０キロ**になるんです!!

≪過去の火災から学ぼう！≫

火災調査とは、全ての火災の原因と損害を明らかにして、将来の火災予防や警防対策に必要な資料を収集し、市民の安全を図ることを目的としています。簡単に言うと・・・

火災が起きた原因を調べて、同じ火災を起こさないようにしよう！ということです。

●火災調査ってどんなことをするの？●

・実況見分（鑑識）
何がどのように燃えていったのか、
どこからどこまで燃えているかなど
写真を撮影したり、図面を書いて調査します。

・質問調書
火災の第一発見者や通報者から聞き取りをし、
必要な情報を集めます。

救急隊

傷病者に適切な応急処置を施して、医療機関へ搬送します。

救急隊員の中には、高度な救急救命処置を行うことができる「救急救命士」の資格を取得している職員が約８０名おります。　近年、救急救命士の資格を取得して、採用試験に臨む学生が増えています。

高規格救急車

急病人やケガ人などの発生時に出動し、救急処置等を行い病院へ搬送します。救急救命士による高度な処置が行えるよう救急用の資器材が装備されています。

全ての救急隊に救急救命士が乗車し、高度救急体制を維持しています。

≪諏訪広域管内を共に守ってくれている **ドクターヘリ・ドクターカーについて紹介します！≫**

☞ドクターヘリ☜

ドクターヘリとは、医療機器や医薬品を装備し、医師・看護師が搭乗して救急現場等へ向かい、救命処置を行う専用のヘリコプターです。長野県では、佐久総合病院と信州大学医学部付属病院を基地病院としている２機があります。119番通報の内容からドクターヘリが必要だと判断した場合に通信司令員がヘリ要請します。

🚑ドクターカー🚑

ドクターカーとは、医療機器や医薬品を搭載した救急車に医師・看護師等が搭乗し、重症患者が救急車で搬送されるのを病院で待つのではなく、救急現場に医療チームを運ぶ車両のことです。傷病者のなかには、治療に1分1秒を争いその差で治療効果が異なり、人生を大きく左右される方がいます。病院に着く前から必要な医療を提供するための特別な車がドクターカーです。

救急救命士って？

≪どんな資格？≫

救急現場で心肺停止等の重症傷病者に対して、医師の具体的な指示のもと、救急処置等の医療行為（**特定行為**）を行うことができる救急隊員です。

≪特定行為って？≫

救急救命士が行える特定行為は例として次のものがあります。

- 乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保のための輸液
- チューブなど器具を用いた気道の確保
- アドレナリン（強心剤）の投与
- 気管に直接チューブを挿入する「気管挿管」
- 心肺機能停止前の静脈路確保と輸液
- 血糖測定を低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与

≪救急救命士になるには？≫

高等学校

⇩

救急救命士養成校
（大学・専門学校）

⇩

救急救命士国家試験

⇩

職員採用試験

⇩

消防署で救急救命士として勤務

主な出身校	
大学	専門学校
国士舘大学	長野救命医療専門学校
杏林大学	新潟医療技術専門学校
帝京大学	湘央生命科学専門学校
帝京平成大学	東海医療工学専門学校
千葉科学大学	東洋医療専門学校

興味のある方はいろいろ調べてみよう！

救助隊

交通事故、山岳や河川の事故現場、自然災害地から速やかに救出活動を行う人命救助のプロフェッショナルです。諏訪広域消防本部では、岡谷消防署へ特別救助隊を、諏訪消防署及び茅野消防署へ救助隊を配備しています。

救助工作車

災害時に逃げ遅れた人がいる場合や交通事故で事故車両から出られないなど、救助工作車の特殊な装備でなければ救出できない災害などに出動します。

部隊紹介　特別救助隊

特別救助隊は、諏訪広域管内で発生した複雑かつ困難な救助事案から、尊い人命を救助するための高度な知識や技術を有する１８名の救助のプロフェッショナル集団です。

特別救助隊エンブレム

特別救助隊は、日頃から知識や技術を深め、出動の際には様々な救助器具を有効に活用し、人命救助に万全を期することを任務としています。特別救助隊が対応する任務や訓練の一部を紹介します。

山間地救助

ＢＣ災害

水難救助

交通事故

高所からの救出

都市型救助

指揮隊

火災現場や救助現場などでそれぞれの隊が円滑に活動できるように指示をし、隊員管理を行うのが指揮隊です。さまざまな現場で的確に状況を把握し、情報を集め、各隊を指揮統制するのが指揮隊の仕事です。

指揮車

指揮車は、火災や大勢のケガ人がいるような交通事故などの災害現場で、出動している全隊の指揮や情報収集などを行う車両です。現場では、全ての情報が集まる指揮本部を作り、活動している隊員に集めた情報を伝えることで、安全に活動する手助けをします。

消防本部

総務課（職員管理・予算）、予防課（許認可・行政指導）、警防課（訓練企画・装備管理）、通信指令課（指令センター運用）で組織され、現場の職員をバックアップしています。

通信指令センター

119番通報を受信し、出場部隊への指令、関係機関への連絡調整、部隊活動のための情報収集を行います。

諏訪圏内６市町村からの通報に対応できる最新鋭の通信指令設備が整備されでいます。

▸▸通報から出場まで▸▸

場所と災害の種別が確認できたら、通報者と会話の途中でも部隊を選び、出動指令を出すことができます。

車両紹介

≪はしご車≫

平成３０年１０月から運用開始した「はしご付き消防自動車」は、地上３５ｍまで伸ばすことができ、高層建築物火災から逃げ遅れた人を救出します。最新鋭の装備を備えたこの車両は、はしごの先端を屈折することで、屋上のフェンスなどの障害物を避けて活動することができるため、これまで以上にスムーズな救助活動が可能となりました。

直近に中高層マンションや旅館・ホテルが多い諏訪消防署に配備されていますが、諏訪圏域内の中高層火災や高所での救助を要する活動の際に出動します。

≪救急普及啓発広報車≫

救急普及啓発広報車は、心肺蘇生訓練用人形や訓練用ＡＥＤ、大型モニター、放送設備などの訓練に必要な各種機材を積載しており、救命活動について学ぶことができます。

◆１人でも多くの救える「命」を救うため、救命講習や応急手当訓練などの様々なイベントを通して、応急手当の普及啓発を行っています。

≪資材運搬車≫

資材運搬車は、大規模災害などで、長時間の消防活動を行う際に出動する車両で、大量の消防資器材や食料を搬送することのできる車両です。

諏訪広域管内だけでなく、大きな災害が起きたほかの消防本部で応援が必要な時に出動したりします。

◆過去の出動◆

御嶽山噴火

東日本大震災

熱海市土砂災害

消防まめ知識

≪消防の階級について≫

消防組織にも、警察や自衛官と同じように階級制度があります。

消防吏員として採用されると、まずは「消防士」としてスタートします。その後は、年数や経験によって１つずつ階級がステップアップしていきます。

消防の階級は以下のとおりです。諏訪広域消防本部の消防長は「消防正監」です。

消防司令長

消防監

消防正監

消防司監

消防総監

消防士

消防副士長

消防士長

消防司令補

消防司令

交替制勤務と仕事内容

≪諏訪広域消防の交替制勤務は３部制です≫

諏訪広域消防本部の当直勤務は、３つの班が交替で勤務をする３部制の交替制勤務としています。当直勤務日、非番日、週休日を繰り返し、土日・祝日などの休日に関係なく勤めています。

当直勤務とは、午前８時３０分から翌日の午前８時３０分までの勤務のことを言います。この２４時間の中には、休憩時間や仮眠時間も含まれています。

（例）

日にち	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
１係	当	非	週	当	非	週	当	非	週	当	非	週	当	非	週
２係	週	当	非	週	当	非	週	当	非	週	当	非	週	当	非
３係	非	週	当	非	週	当	非	週	当	非	週	当	非	週	当

当＝当直勤務日　非＝非番日　週＝週休日

消防本部（３課）の職員は、朝８：３０から１７：１５までの毎日勤務です。（土日祝休み）

≪消防署の１日≫

８：３０　勤務交替（前の当直者から引継ぎ）

前日より勤務している職員と勤務の交替を行います。引継ぎの際、服装点検や車両・資機材などの点検を行います。

９：００　申し送り・ミーティング

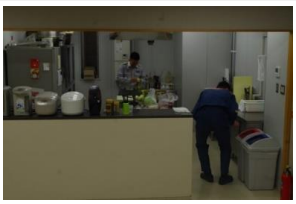
前日の災害発生状況や各隊の１日の予定について確認したり、管内の通行止め等の道路情報を全員で共有します。

１０：００　訓練・調査

訓練は、資機材の取扱い訓練や、部隊の連携訓練など、火災・救急・救助等、あらゆる災害を想定して行います。

１３：３０　災害出場（火災）

１８：００　休憩（夕食）



夕食は、庁舎内の厨房で職員が協力しながら作ります。

２０：００　事務処理・体力錬成

各種報告書の作成やそれぞれの担当の事務処理をしたり、消防活動に必要な体力向上のため、体力錬成を行います。

２３：００～６：００　仮眠（災害があれば出動）

３：００　災害出場（救急・救助）

８：３０　勤務交替（次の当直者へ引継ぎ）

採用後は、長野県消防学校へ

採用されると消防士としての基礎知識習得のため、長野県消防学校（初任科）へ入校します。
約６ヶ月間、県内消防本部から集まった仲間とともに全寮で団体生活を送ります。

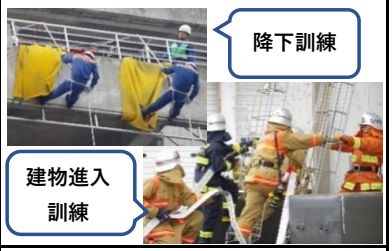
宿泊棟

訓練塔

室内訓練場

≪消防学校の一日≫

日　課	時　間	
起　床	6時30分	放送（校歌）により起床
点呼・清掃・朝食	６時５０分～８時００分	学校内の清掃をし朝食
日直・寮直勤務交代	8時10分	前日の当番者から当日の当番者へ交代
通常点検	8時40分	
第１時限	９時００分～９時５０分	午前中は制服にて座学
第２時限	１０時００分～１０時５０分	
第３時限	１１時００分～１１時５０分	
昼食・休憩	１２時００分～１３時００分	午後の訓練に備えて栄養満点のメニュー

日　課	時　間	
第４時限	１３時００分～１３時５０分	午後は活動服等で実科訓練 
第５時限	１４時００分～１４時５０分	
第６時限	１５時００分～１５時５０分	
第７時限	１６時００分～１６時５０分	
自己啓発 夕食 入浴	１７時００分～２０時５０分	体力向上のための筋トレや実科訓練で学んだことの復習など自己啓発を行います
点　呼	21時00分	宿泊棟内で点呼
自習時間	２１時００分～２２時００分	各寮室にて自習
消灯・就寝	22時00分	就寝中には夜中の災害を想定した突然の訓練を行うことも…

≪実科査閲・卒業式≫ ９月の卒業式では、家族や友人を呼んで、半年間の研修の成果を発表します。

職員メッセージ

岡谷消防署

長田　穂奈美

（平成３０年４月採用）

●消防士を目指した理由●

中学生の職場体験で消防署に行き、訓練を一緒にやらせていただき、一生懸命で行動がきびきびしている消防士に憧れをもち目指しました。

●実際に働いてみて●

火災・事故・救急どの現場でも傷病者や家族は不安でいっぱいです。その人たちのために私たちは安心させる側であることを忘れてはいけません。常に責任感のある職場だと思います。

●消防士を目指している人へ●

現場で色々なことが経験でき、その人のために、自分ができる精一杯はなにかを常に考えることができる、やりがいのある仕事です。また、女性も当たり前のように働くことができる職場です。２４時間勤務で、大変な時もありますが、消防職員の作るご飯は最高です！ぜひみなさん、諏訪広域消防で一緒に働きましょう!!

●消防士を目指した理由●

幼いころ消防士の方に助けていただいたことがあります。その頃から消防士という仕事に興味を持ちました。調べていくと救急救命士という資格があることを知り、困っている人の力になりたいと思い消防士を目指しました。

●実際に働いてみて●

消防士は火を消すだけではなく、救急隊や救助隊といった仕事があります。また、現場だけでなく、予防といった火災を未然に防ぐための仕事もあります。これらの業務を行う中で多くの方から感謝されることがあり、困っている人を助けるというとてもやりがいのある仕事だと感じました。

●消防士を目指している人へ●

消防という仕事は一人ではなく、チームで活動しなければなりません。そのため仲間意識が強く、チーム内でサポートしながら活動していきます。まだまだ覚える事が沢山あり、日々訓練に励んでいます。困っている人を一人でも多く助けられるよう、私たちと一緒に諏訪広域の暮らしを守りましょう。

岡谷消防署

須田　竜成

（平成３１年４月採用）

岡谷消防署

鷹野原　良輝

（令和２年４月採用）

●消防士を目指した理由●

私は小学校から大学まで野球を続けていました。野球で培った、体力・忍耐力・精神力を活かせる仕事をしたいと思い、消防士を目指しました。大学では救急について専門的に学び、救急救命士の資格を取得しました。大学卒業後は別の消防本部で、消防士として働いていました。幼いころから地元で働きたいという気持ちが強かったため、諏訪広域消防本部を受験しました。

●実際に働いてみて●

災害の最前線で活動することが多く、瞬時の判断・技術・知識・体力・チームワークが求められます。現場活動では、やり直しはできません。そのため、日々訓練、体力錬成をし災害に備えています。初めて出動した火災では、自分の命、地域住民の尊さ、財産の大切さを感じました。また、災害を事前に防ぐ、予防の仕事も消防の大きな役割であると感じました。

●消防士を目指している人へ●

厳しく、大変な現場も多くあり、決して楽な仕事ではありませんが、地域住民の方から感謝の言葉をかけられたときは、とてもうれしく、やりがいを感じます。職場には、高い志を持った先輩方が多く、日々、自分の成長を感じることができます。私たちと共に、諏訪広域の住民のために働きましょう。

●消防士を目指した理由●

中学生の頃、自分の将来を考えていた時に、救急救命士をいう仕事を知りました。少しでも人の役に立ちたいと思っていた私には向いていると感じ、消防士を志しました。

●実際に働いてみて●

次から次へと覚えることが多く、大変だと感じる事もありますが、それ以上のやりがいを感じています。交通事故で負傷し、救急搬送した方が無事に回復され、元気な姿を見た時はこの仕事を選んで良かったと思いました。この先もこのような方を一人でも増やせるように日々訓練・勉強に精進していきたいです。

●消防士を目指している人へ●

消防は「屈強な男性」というイメージが強いかもしれませんが、近年、全国的に女性消防士は増加しています。女性特有の優しさや繊細な気遣いを活かした傷病者への観察・処置など、女性にしか出来ない業務内容も数多くあります。「女性だから・・・」と思わず、ぜひ私たちと一緒に困っている方達に寄り添いませんか？

岡谷消防署

山田　紗椰

（令和２年４月採用）

MEMO